

潮風が強く吹き付ける、銚子の先端、犬吠埼。
車を防護する車庫と、住宅としての機能を求められた。

銚子を含め、海沿いの建物は、強い潮風のため、内陸に建つもの比べて耐用年数がはるかに短い。今回、門型に加工したH鋼を東西方向に7本連立させ、そこにデッキプレートとステンレス折板を外皮としてぐるりと覆った。水はけが良く、強風に耐えうる構造を確保した。またそのシンプルな形状によりローコストにも一役買っている。

一階、二階とも、H鋼フレームと外皮の曲線がインテリアにも影響を及ぼすよう、構造をあらわしとした。

-A
二階の内部空間を間仕切る壁は、天井と切り離した状態（高さ1800mm）で自立させており、諸要室が多いながら、ワンルームに近い一体感を感じ取ることができる。-B
さらに二階は、箱状の寝室を中央に配置し、まわりに他室を分散させた構成となっている。寝室を形成する4つの壁のうち一辺は大型の引き分けの建具となっていて、その開閉により平面構成は変化し、定常状態をつくらない。限られた空間の中に意識的な広がり、バリエーションを持たせてくれる役割をはたす。-C

西側外部には大型のルーバー門扉をとりつけた。昼間はルーバー自らが太陽光によって影をつくり、外部からの目隠しとして機能する。夜は逆に内部からもれる光によって印象的なファサードをつくりあげている。田舎の、広すぎる故に心許ない敷地の中で、強く確かな存在感をもって自立するシェルターができあがった。

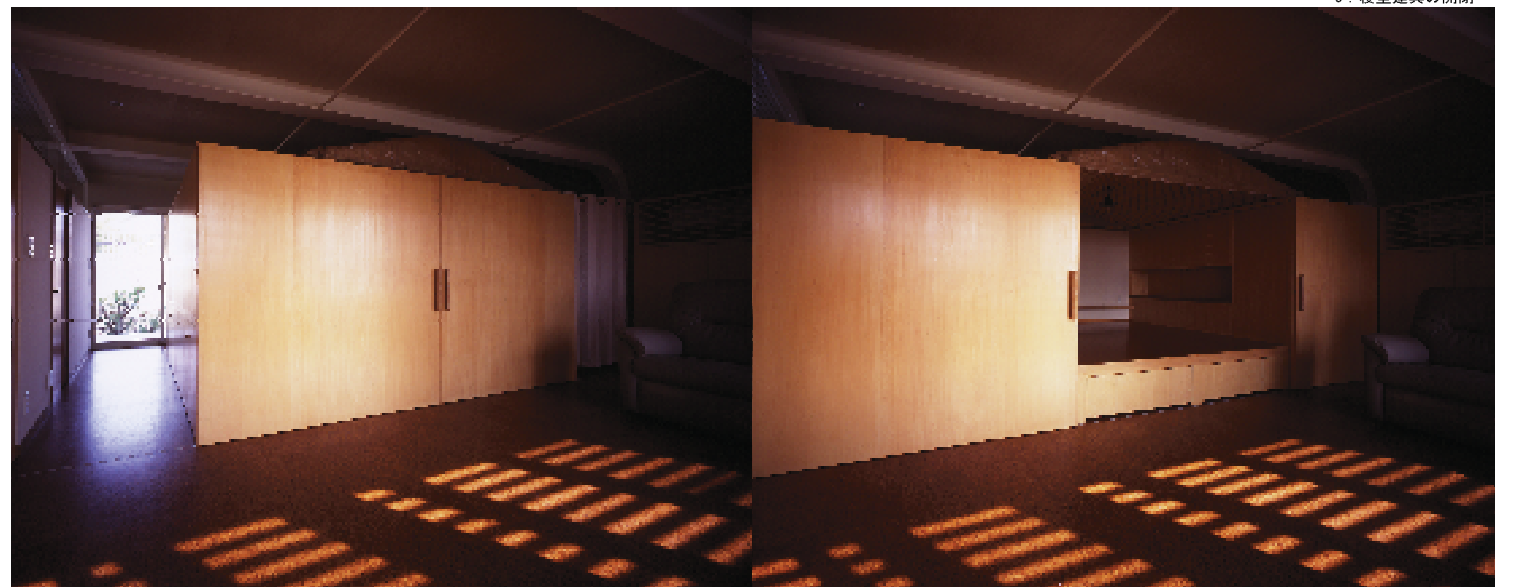


A: 水回りにも露出した構造



B: 高さのそろえられた間仕切り壁

C: 寝室建具の開閉



〈風のアトリエ〉

kaze no atelier

所在地：千葉県銚子市
建築用途：車庫兼住宅
主体構造：鉄骨造2階
建築面積：87.83㎡
延床面積：120.33㎡